

# 京都学園大学同窓会滋賀県支部タイムス

滋賀県支部

発行責任者：馬場 善和

## 滋賀県支部総会&研修会は楽しい!!



**2010年5月30日(日)**

[狸を含めて約100名(?)の参加となりました。]

5月30日(日)晴天に恵まれ、20名参加して頂きました。初めて、ホテルから飛び出し、マイクロバスを利用した第7回滋賀県支部総会&研修会でした。4月から第9代目学長に就任された内山隆夫先生がご多用中、出席して頂きました。尚、内山学長は滋賀県近江八幡市在住ですので、これからも滋賀県支部のご協力をお願い致します。車中、馬場支部長挨拶、会計報告、活動報告がありました。佐川美術館では「平山郁夫追悼展」「竹久夢二」展等を観賞、ランチは「鮎の郷」で鮎を焼きながら、美味しいシジミご飯、小鮎の天ぷら等を賞味致しました。移動中、テレビモニターから大学の最新情報が流れ、懐かしい母校の施設を中心とした内容でした。ビール、缶コーヒー、お茶は飲み放題、おつまみも食べ放題でした。午後の研修会先は同窓生の信楽焼きのお店(株)丸克製陶所を訪問しました。信楽古陶館で学長から「大学の現状と卒業生の大学発展協力について」お話をされた後、小西さんから信楽焼の歴史を学び、次に製作過程の見学、粘土をひも状にして積み上げて作る”手びねり”の陶芸教室で童心に帰り、粘土を練り、それぞれ、世界に一つしかない作品に取り組みをして、お隣の人と会話が弾み、より親睦が図れました。中には骨箱に見える作品もありましたが、お手元に届くまでの1ヶ月間どのような作品が届くか毎日が楽しみです。そして宅配便で届いた瞬間「こんなはずじゃ・・・」とため息する人が大多数です。

次回の総会は女性、最近卒業された方が参加しやすい京町家キャンパスの「新柳居」で桂三風さんの寄席か、京町家研究家の講習会を予定しています。

# 第7回滋賀県支部総会&研修会

## 研修会は沢山の人の支えていただきました。

滋賀県支部の研修会は本当に多くの人に支えて頂いて実施できました。まず自動車屋さんの吉仲滋賀県支部幹事(5期生でバレーボール部OB)はマイクロバスの確保と運転手としてサポートして頂きました。バスの中では昼食後、お酒の匂いが凄かったが、吉仲さんには我慢してもらいました。参加者の受付は武村監事に集金業務と次第表を配布してもらい、洪江副支部長、鳥居副支部長には栗東駅からマイクロバスまでの案内、宮川幹事は同伴参加とそれぞれの立場でご協力して頂きました。堀越同窓会副会長は早朝より、栗東駅近くのスーパーでおつまみの購入、さらに参加人数分袋詰して持参されました。お酒代の御厚志も頂いていたのにありがたかったです。内山学長の参加依頼とお相手をして頂いた教職員OB会幹事の西田久雄さん、陶芸教室では指導員であった井尻同窓会副会長、中野副会長は地元保津町で地域販売されている「ハームクーヘン」を情報提供のため持参された。学長がお住まいされている近江八幡市にはハームクーヘンで一躍、有名になった「たねや」の本社があるのに、昨日の京都新聞に掲載された保津町発の新聞のコピーも一緒に持参された。「なんと突破りの強気をアピール!!」一番のサプライズは自宅の近くで自転車に乗っているところを車にはねられた後輩、翌日に脳波の精密検査を受けないといけないうちに、滋賀県支部研修会に行きたいと言ってお母さんに迷惑をかけ、親友からキャンセルするように後輩に、連絡を取ってほしいと頼まれたこともありました。同窓会事務局の田中さんをはじめ、丸克製陶所の小西敏夫さん等、たくさんの人のご協力で滋賀県支部の研修会は無事終了致しました。初参加の栗原康夫様、吉川孝二様、次回も必ず継続して参加して下さい。



[内山学長(右端)の作品は、さてなんでしょうか。]

同窓会  
滋賀県支部

### 【編集後記】

滋賀県支部タイムスが20号になりました。よくここまで中断することなく、継続できたことは少しは満足していますが、まだ同窓生の皆様に満足して頂いているとは思ってはいません。大学を卒業して28年が経過しましたが、滋賀県支部総会は学生時代、一生懸命活動した龍尾祭実行委員会及びレク研の延長で、滋賀県支部タイムスは新聞部で発行していた「学園大タイムス」の継続版と思って別に苦にすることなく継続しています。卒業生約24000人の中で一人ぐらい50歳を過ぎても「青春時代」を継続できる数少ない環境にいられることには有難いことです。最近、滋賀県支部タイムスを楽しみにして頂いている人が増えてきました。しかし「ネタ」がありません。そろそろ潮時かもしれません、今回は取敢えず第7回滋賀県支部総会&研修会の報告で発行ができましたが次は「どうなるか判りません。次号は出来れば滋賀県で頑張っている同窓生に取材に行き「元気」をもらいたいです。誰かいませんか?」自薦、他薦のどちらでもよろしいです。最後に滋賀県支部タイムスがこれからも同窓生の「つながり」に貢献できることを望みます。

